

次の文章をよく読んで、7ページから10ページにある問いに答えなさい。

だれかに何かを伝えたいと思ったとき、あなたは どうしますか。メールを出しますか、それとも直接話しますか。さまざまな方法があります。例えば、東日本大震災の後に、手紙やメールなどで、多くのはげましのメッセージが被災地の人びとに送られました。このようにメッセージを書いて伝えるという方法は、伝えたい思いをこめやすく、もっとも身近なものといえるでしょう。

しかし、メッセージは手紙やメールなど言葉や文字ではっきりと示されているものだけではありません。言葉や文字以外のものからも、読み解くことができます。これから、さまざまなものにこめられたメッセージの例を見てゆきましょう。

\* \* \*

<例1 石碑に残されたメッセージ>



写真1 多賀城碑の写し

西

多賀城

此城神龜元年歲次甲子按察使兼鎮守將  
軍從四位上勳四等大野朝臣東人之所置  
也天平寶字六年歲次壬寅參議東海東山  
節度使從四位上仁部省卿兼按察使鎮守  
將軍藤原惠美朝臣朝獨修造也  
天平寶字六年十二月一日

去京一千五百里  
去蝦夷國界一百二十里  
去常陸國界四百二十里  
去下野國界二百七十四里  
去靺鞨國界三千里

(写真1をわかりやすくしたもの)

現在では、文字によってメッセージを伝えることは、だれにでもできます。しかし、古い時代には、王や貴族のような有力者だけしか文字によるメッセージを発信できませんでした。そもそも文字を知っている人が少数でしたし、発信する手段が少なかったからです。たとえ文字を知っていても、紙がとても貴重だったので、簡単に文字を書き残すことが

できませんでした。それでは、このような古い時代のメッセージの一例を見てみましょう。

写真1は、多賀城碑といわれているものの写しです。この石碑は縦が約1.8メートル、横が約1メートル、石の厚さが約50センチメートルで、(あ)県が多賀城市にあり、

762(天平宝字6)年にア、多賀城が修理されたときにつくられたと考えられています。この地方にあった国府の建物の入り口に置かれていたようです。石碑の文章を読むと、多賀城が建てられた場所や、大野朝臣東人という人物が城を建てたこと、藤原惠美朝臣朝獨という人物が城を修理したときにこの石碑をつくらせたということがわかります。

石碑に刻まれている文章の内容が藤原惠美朝臣朝獨の伝えたかったことだとすると、文字が読める人であれば、おおよそそれを理解することができるでしょう。しかし、彼が伝えたかったことは、その内容だけではないのです。もう一度、石碑全体に注目してみましょう。イ、この時代、石碑に漢字という文字を刻んだということ自体も重要なメッセージだと考えられるのです。

<例2 写真から読みとるメッセージ>

メッセージは、かならずしも文字によってのみ伝えられるわけではありません。写真からもメッセージを読みとることができますし、文字より強い印象を受ける場合もあります。



写真2



写真3

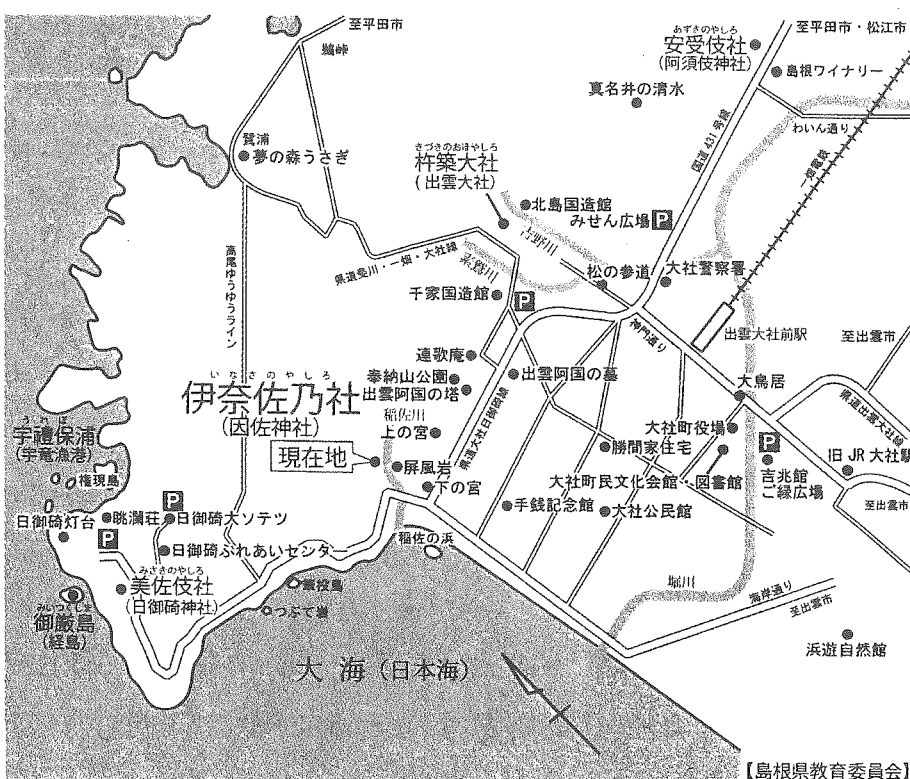
前のページの写真2と写真3を比べてみましょう。ともに昭和天皇を写したものです。写真2は1938(昭和13)年に東京の軍事演習場で撮られたもので、写真3は1949(昭和24)年に(い)県の大牟田市付近に広がっていた三池炭鉱で撮られたものです。いずれも新聞などに掲載されましたが、エ、この2つを比べてみると、昭和という時代が大きく変化し、それにつれて、掲載される天皇の写真も変わったことがわかります。それぞれの時代の読者が読みとったメッセージも大きく変わったことでしょう。このように写真は細かい説明を加えなくても強い印象を与えることがあります。私たちは写真から受けた強い印象を特定のメッセージとして読みとることがあるのです。

### <例3 地図にこめられたメッセージ>

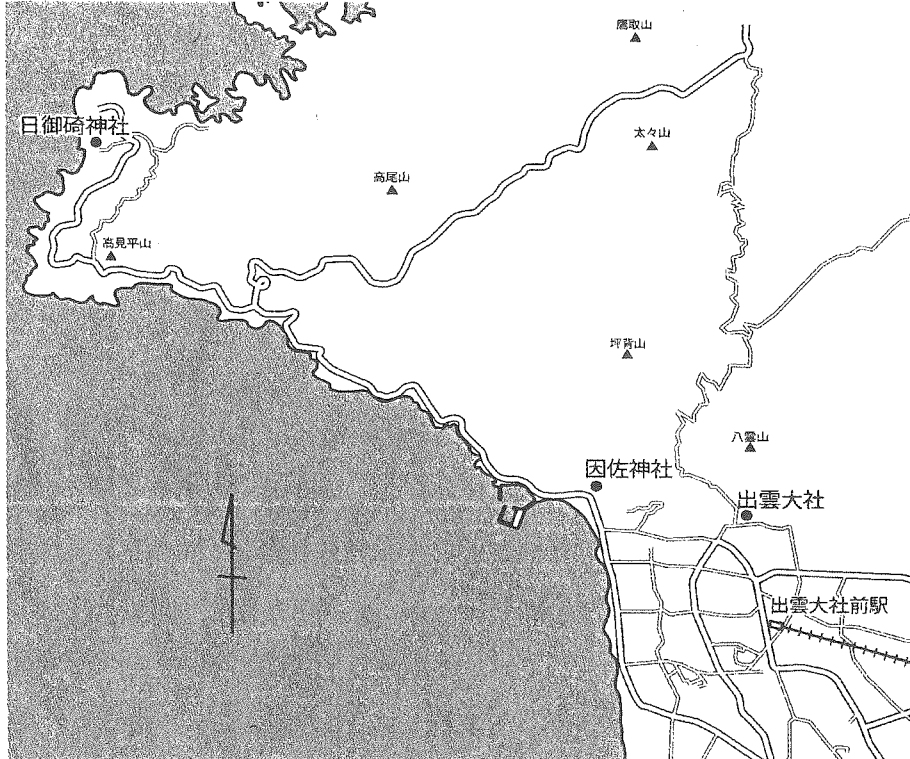
私たちは知らない場所について情報を得たいときに地図を見ます。地図は実際に地面の上にあるものを文字や図、記号を使って紙の上に書き写したものですから、メッセージの入りこむ余地などないように思われるかもしれませんが。しかし身のまわりには、実にいろいろな種類の地図があります。歩道に立てられている地図や、チラシに載っている地図、カーナビゲーションで使われている地図など、同じ場所を描いた地図でも見た目がちがっていることは当たり前のようにあります。このちがいに注目すると、地図をつくった人が伝えたいメッセージがみえてきます。

そもそも、地図をつくる人の目的のひとつとして、利用する人にとって使いやすい地図にしたいということがあります。例えば、電車の乗りかえを調べようとする人のためには、路線だけをぬきだした地図をつくります。描かれている内容が多ければ、それだけよい地図であるというわけではなく、不必要なことは省いたり、簡単な表現にした方が、かえって使う人にとってはわかりやすい地図になることもあります。また、地図をつくる人が何らかの目的をもって情報を省略したり、簡単な表現にすることもあります。

地図1と地図2を見てみましょう。地図1は島根県出雲市の因佐神社の前にある案内図を見やすくしたものです。しかし実際の地域の様子は地図2のようになっており、地図1とは大きくちがっています。オ、このような地図1をあえてつくったということは、そこに何か目的があったと考えられます。カ、地図もつくり手の目的によって異なったものになるのです。



地図1



地図2

これまで見てきた例から、文字や言葉以外のものにこめられたメッセージがわかりましたか。前述したように、私たちは文字や言葉によって直接伝えられるものからだけでなく、写真や地図などからも、送り手のメッセージを読み解いているのです。

\* \* \*

次に、情報社会とよばれ、いたるところにメッセージがあふれかえっている現代に目を向けてみましょう。現代の社会では、多くの人びとにいつせいにメッセージを伝える手段が発達しています。新聞やラジオ、テレビがその例です。それらが伝える内容は、政治、経済などさまざまな分野で欠かせないものとなっています。

例えば政治に関する報道について見てみましょう。キ、ニュース番組や討論番組に政治家が登場します。新聞に政治家の談話が掲載されます。それだけではなく、一般の読者の意見が投書らんに掲載されていたり、街頭でインタビューを受けている人の様子が報道されているのを見たことがあるでしょう。一般の人の意見が報道されるということについては、新聞社や放送局が実施する世論調査の結果も見過ごすことはできません。

現在の日本では、国民の意見が新聞やテレビを通して報道されることはめずらしくありませんが、まったく注目されなかったり、無理におさえられてしまう時代もありました。右の絵は明治時代の（う）のときの演説会の様子です。警察官が演説者を力でおさえています。人びとは物を投げて抗議していますが、ここに集まった人びとの意見が政治に反映されることはとても難しい時代でした。



そのころと比べると、現在では日々、さまざまな意見が「世論」として報道されており、実際の政治にも大きな影響をおよぼしています。しかし、その「世論」には気をつけなければならないこともあります。すなわち、報道された内容を十分に考えないまま受け入れてしまっていないか、ク、多数意見にばかり目を向けて少数意見を無視してしまっていないか、といったことです。私たちの社会では最終的には多数決でものごとを決めることが多くあります。ケ、だからこそ、少数意見に耳をかたむけない

まま、多数意見に安易に流されて結論を出してしまうことは望ましくありません。

近年ではインターネットが急速に普及しています。さらに技術の発達によって、いまや音声や映像も簡単に発信したり受信したりできるようになり、それまでは不可能だったことが可能になりました。例えばインターネットで患者のカルテを共有しておく、どの病院の医師でもそれまでの治療の内容をすぐに知ることができるようになりました。また、遠く離れた場所からも診察できるようになりました。コ、インターネットは身近な生活や仕事など、さまざまな場面で変化をもたらしつつあるのです。

インターネットの登場でメッセージの伝え方も多様になりました。新聞やテレビしかなかった時代とはちがひ、いまやだれもが簡単にメッセージを送ることができます。しかも多くの人びとにいつせいに送ることもできますし、特定の人だけに送ることもできます。音声と映像を利用して、離れている人同士が会議をすることも可能になりました。ブログのように個人の意見をインターネット上で自由に発言できる方法も多くあり、さまざまな意見がとびかっています。私たちはこうした意見の中から必要とするものを自由に選んで入手することもできるようになりました。そうした多様な意見に触れることで、自分の意見を見直す機会も増えるだろうと考えられてきました。

しかし、現実とは異なり、インターネット上では似たような意見をもった人同士のやりとりは進む一方で、ちがう意見や考え方をもち人とは、やりとりが少なくなり、まるで壁ができていくかのようです。その壁はますます高くなり、乗り越えることが難しくなっているともいわれています。そう考えると、サ、現代は、メッセージを発信したり受けとったりする上で、もっとも便利な時代になったようにもみえますが、もっとも困難な時代であるのかもしれない。

問1 空らん（あ）、（い）、（う）に当てはまる語句を答えなさい。

問2 下線部アについて。朝廷が多賀城を建設させた目的は何ですか。答えなさい。

問3 下線部イについて。重要なメッセージだと考えられるのはなぜですか。石を使ったこと、漢字を刻んだこと、それぞれに注目して答えなさい。

問4 下線部ウについて。三池炭鉱に関して述べた文として正しいものを次の①～④の中から1つ選び、記号で答えなさい。

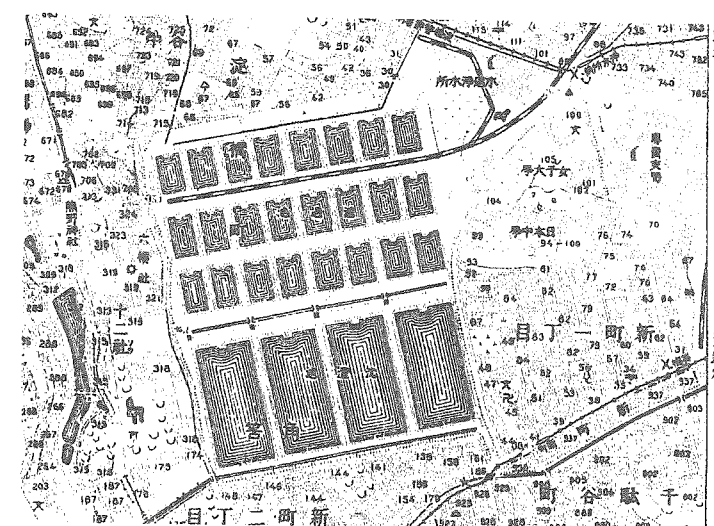
- ① 炭鉱の閉山で市の人口が10分の1にまで減少し、財政が破たんした。
- ② かつては日本一の産出量を誇り、付近には大規模な製鉄所があった。
- ③ 湧き出る温泉を利用した観光施設を建設し、観光業中心の町へと転換した。
- ④ 炭鉱と港を結ぶために、東京、大阪に次いで全国で3番目に鉄道が開通した。

問5 下線部エについて。写真2や写真3を見た当時の読者は、それぞれどのようなメッセージを受けとったでしょうか。2つの写真が掲載された時代に注目して答えなさい。

問6 下線部オについて。

- (1) 地図2と比べたとき、地図1にはどのような特徴がありますか。答えなさい。
- (2) (1) であげた特徴が役立つのは、どのような人がどのように使うときだと考えられますか。答えなさい。

問7 下線部カについて。下の2枚の地図は、いずれも新宿駅の西側付近を描いたものです。現在では東京都庁など高層ビルの建ち並ぶ地区ですが、かつては広大な浄水場がありました。1925（大正14）年の地図にはその様子が描かれていましたが、1937（昭和12）年の地図では、浄水場が姿を消し、池のある公園のように描かれています。実際には浄水場は廃止されたわけではなく、地図の上でだけ、このような変更がおこなわれたのです。それはなぜですか。答えなさい。



1925年作成の地図



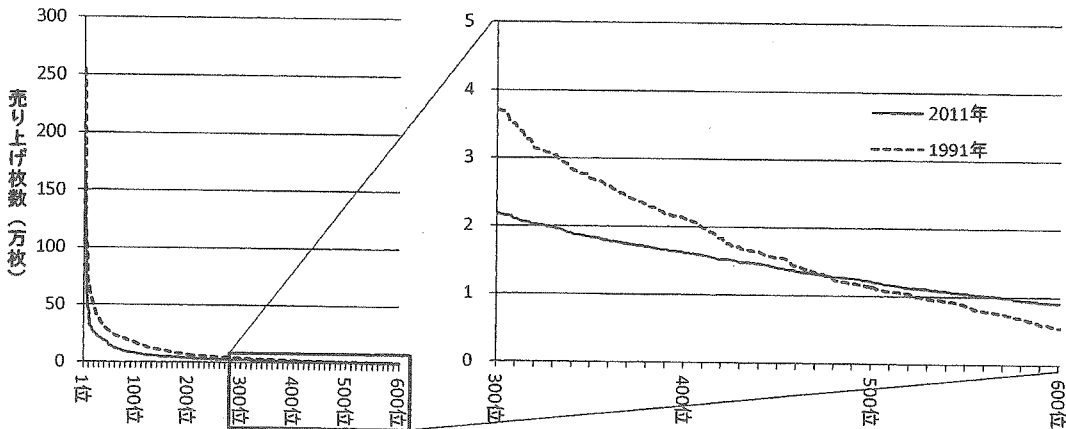
1937年作成の地図

問 8 下線部キについて。政治家が自分のメッセージを伝え、国民の支持を得ようとするときに用いる手段は、新聞、ラジオ、テレビなどがあります。新聞やラジオを利用するときと比べ、テレビを利用するときに、政治家はどのような効果をねらって、どのような工夫をしていますか。例をあげて答えなさい。

問 9 下線部クについて。ものごとを決めるときに、少数意見に十分に耳をかたむけることはすべての人のためになることです。なぜでしょうか。答えなさい。

問 10 下線部ケについて。私たちの社会では、多数意見に安易に流されがちで、それに逆らうのは難しいといわれています。なぜでしょうか。答えなさい。

問 11 下線部コについて。下のグラフは 1991（平成 3）年と 2011（平成 23）年における音楽 CD（シングル）の年間売り上げ枚数の上位 300 位から 600 位までを拡大したものです。店舗で CD を買う人がほとんどだった 1991 年と、店舗だけでなくインターネットを利用して CD を買うことが普及した 2011 年を比べると、グラフの形が変化しています。どのように変化したのでしょうか。また、なぜそのような変化が起きたのでしょうか。インターネットを利用した販売の仕方の特徴に注目して答えなさい。なお、ここではダウンロード販売の影響は考えないこととします。



問 12 下線部サについて。なぜ困難な時代だと考えられるのでしょうか。インターネットの特徴を考えて、具体的にどのようなことが起きているのかを 140 字以上 180 字以内で説明し、困難さを明らかにしなさい。ただし、句読点も 1 字分とします。

〈問題はここで終わりです〉

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
| 氏 名  |  |

麻 布  
(2013年度)

社会解答用紙(その1)

問1 (あ)  (い)  (う)

問2

問3 石碑   
漢字

問4

問5 写真2   
写真3

問6 (1)   
(2)

問7

問8

(整 理 番 号)

|                      |
|----------------------|
| 小 計                  |
| <input type="text"/> |

|      |  |
|------|--|
| 受験番号 |  |
| 氏 名  |  |

麻 布  
(2013年度)

社会解答用紙(その2)

問9

|  |
|--|
|  |
|  |

問10

|  |
|--|
|  |
|  |

問11

|  |
|--|
|  |
|  |

問12

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

(140)

(180)

(整 理 番 号)

|  |
|--|
|  |
|--|

|     |
|-----|
| 小 計 |
|     |